

当院では、軽症～中等症のパーキンソン病患者(ヤール分類2～3度)を対象に、LSVT®(リー・シルバーマン・ボイス・トリートメント)を行っています。

LSVTとは

LSVT はパーキンソン病に特化した運動療法(リハビリテーション)プログラムです。動作の速さよりも大ききの改善に焦点を当てて、運動症状を改善するためにBIG、声の大きさに焦点を当てた発声の訓練法LOUDがあります。

パーキンソン病における運動療法の重要性

パーキンソン病は、ドーパミン神経の変性・脱落により、「脳が適切な身体の動かし方を忘れてしまう」病気です。現在の治療の中心は、薬剤によるドーパミン補充療法ですが、当院では脳に適切な運動を思い出させるための運動療法(リハビリテーション)も重要と考えています(Exercise induced brain reorganization)。リハビリテーションは運動症状の進行を遅くする効果も期待されています(Hirsch and Farley 2009)。

LSVTの優位性

通常のリハビリテーションでもパーキンソン病の運動症状を改善する効果が十分にありますが、LSVTには更なる効果が期待できます。LSVT v.s. 通常リハ(あ

るいは LSVT 簡略版)を比較したメタ分析では、運動症状を評価する UPDRS part III スコアにおいて、LSVT 群が 3.2 点より大きく改善したとの報告があります(McDonnell et al. 2018)。

当院での取り組み

所定の研修を受けて認定された理学療法士/言語療法士が指導いたします。原則的に 4 週間程度の入院で、合宿形式でみっちり指導を行います。訓練内容を覚えて帰っていただいて、自宅でも訓練を続けることで、長期的な効果も期待できます。

LSVT でできるだけ長く元気に過ごしましょう！

当院は新大阪駅前です。他府県からの参加も歓迎いたします。ただし、下記の方は対象外とさせていただきます。

- ・ 認知機能や心肺機能に心配があり、LSVT プログラムを完遂できない方
- ・ 転倒リスクの高い重症のパーキンソン病患者の方(ヤール分類 4～5)
- ・ パーキンソン病ではないパーキンソン症候群の方

遠方から参加希望の方は、必ず主治医の紹介状を持ってまずは事前に外来受診予約をお取りください。

参考文献：

Hirsch MA and Farley BG, Exercise and neuroplasticity in persons living with Parkinson's disease, *Eur J Phys Rehabil Med.* 2009; 45: 215-29

McDonnell MN, Rischbieth B, Schammer TT, Seaforth C, Shaw AJ, Phillips AC, Lee Silverman Voice Treatment(LSVT)-BIG to improve motor function in people with Parkinson's disease: a systematic review and meta-analysis. *Clin Rehabil.* 2018; 32: 607-618